

令和6年度第1回仙台市若林区区民協働まちづくり事業評価委員会
令和6年度仙台市若林区まちづくり活動助成申込事業 計画説明会 議事要旨

日 時：令和6年6月15日(土) 13:00～15:00

会 場：若林区役所6階ホール

出席者：針生委員長、田澤副委員長、神坂委員、玉渕委員、
広瀬委員、高橋委員、菅原委員
若林区役所まちづくり推進課事務局

1. 開会

評価委員の紹介、概要説明

2. 申込事業計画説明及び質疑応答

(1) 事業名：仙台若林みんなのマルシェと大道芸

団体名：東北パフォーマンスネットワーク

<プレゼン概要>

- ・他のイベントやまちづくり事業とは違う特色を持つイベントを企画運営する。大道芸のステージをメインコンテンツとし、将来的に多くの人に楽しんでもらえる規模を目指し、若林区の魅力も伝えられるイベントにしていきたい。

<質疑・意見>

Q 他のまちづくりのイベントとは違う特色を持つ企画とは具体的にどのような特色か。

A 具体的にすぐに出ないが、様々なイベントに参加する中で「自分だったらこうしたい」と思うことがあった。そういったことを企画の中に反映させていきたい。

Q 今回の企画を行うことで、解決したいと思う若林区の課題は何か。

A 色々な方とお話する機会があり、町の人たちとの繋がりが薄いと考えている人が多く、このイベントでつながりを作っていきたい。

Q 団体として「まちづくり」をどのように捉えているか。

A 「地域活性化」という言葉に集約されていると思う。町の人たちを賑やかに、新しい賑わいを作っていきたい。

Q 協力事業者とどのような協力をしながら事業を行うのか。

A 企画の中でどのような団体と連携可能か、イベントの内容、子供たちやその保護者とどうつなげられるか、広報面、当日の運営の仕方など、協力事業者のそれぞれの強みでアドバイスをいただきたいと考えている。

Q 収支予算書で協賛金を5万円としているが、この企画だともっと多く集まると思う。低く見積もっているのか。

A 現時点で何も交渉していないので、自分の身の丈にあった規模感で予算を組んだ。

Q このイベントは助成金が出たら行うのか。助成金が出なかったら行わないのか。

A 仮に助成金が出なかった場合、11月に実施できるか分からないが、当団体の目標の1つは「大道芸が楽しめるイベントを企画開催すること」である。実は過去にも企画したことがあり、その時は周りの方をうまく巻き込むことができず、今は中断している状況。質問の回答としては、助成金が出なかったらこの事業はできないのかと言ったら、やりたいと思っている。

Q 具体的に地域住民をどのように巻き込み、どのような形で一緒に作り上げていくというイメージを持っているか。

A 協力してもらうためには、協力者も楽しんでもらうことが大事なので、自分たちが努力しなければと思っている。

(同席者の回答)

以前、ディズニーランドで働いていたことがあり、震災で宮城に戻ってきた時に、表現する人が多くいたらいいと思った。ただ、関東や関西と比較すると、表現する場所や見る機会が少ないと思い、現在、週一で子供たちと一緒に大道芸を行っている。

その中で子供たちもみんな「やってみたい」「やりたかった」と言って、徐々に参加する子供が増えている。なので、企業や商店街だけでなく、町の子どもたちとも一緒に作り上げて、発表の場を作り、またそれを見た子たちが参加し、好きなことを仕事にする。そういう場作りもしていきたい。